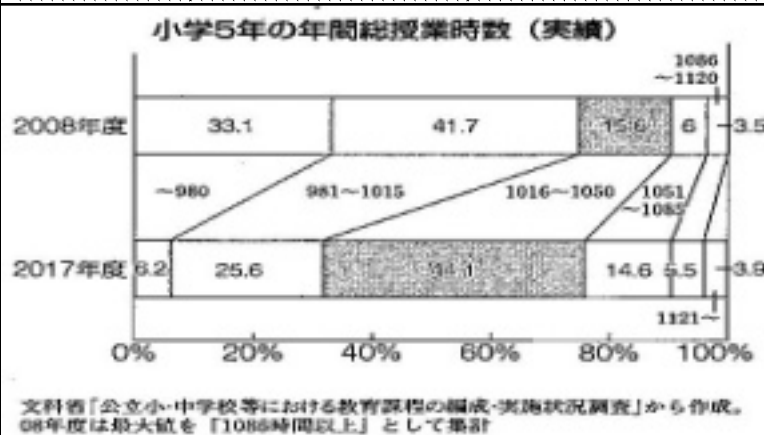


安倍9条改憲を許さない！  
5・3おおさか総がかり集会  
2019年5月3日(祝)13:30～  
扇町公園～市民パレード3コース  
(地下鉄御堂筋線「扇町駅」JR環状線「天満駅」)

# 泉北教育

NO.2137 2019.4.22  
発行 泉北教職員組合  
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2  
0725-41-1953 Fax0725-44-6570  
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

## 小・中学校における教育課程の編成実施状況調査 総授業数、標準を大きく上回る



**2017年度実績**  
**大幅増**  
小5の年間授業時数(実績)の平均は2008年度の999時間から2017年度には1040・2時間増加。(1授業時間45分)中1も1027時間から1061・3時間に増

文科省は2019年4月2日、2018年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査の結果について公表しました。2018年度計画の年間総授業時数は、小5で平均1061時間。25・7%は、標準の995時間を大きく上回る1086時間以上で計画してしま

## 文科省 見直し求める通知

えました。(同50分)

文科省が定める2017年度の小5の標準授業数980時間に対し、4分の1の学校で1051時間を超えていました。さらに3・9%の学校では1日6時間授業が3日以上となる1121時間を超えていました。

**年間総授業日数も大幅増**

年間総授業日数(計画)が2006日以上の学校も増加。15年度から18年度の間に小学校で16・9%から27・8%に、中学校で17・8%から24・8%に増えました。

**2018年度計画さらに大幅増**

2018年度に最大で何時間の授業を実施することが可能かを回答した年間総授業時数では、小5が全国

平均1061時間(標準:995単位時間)、中1が全国平均1072・6時間(標準:1015時間)。小5の25・7%は、学校における働き方改革に関する答申において標準を大きく上回った授業時数と指摘された「1086時間以上」の授業を計画していました。

### 文科省が通知

調査結果を受け、文科省は3月末に初等中等教育局長名で通知を发出。指導体制を整えずに標準時授業数を大きく上回れば教師の負担増加に直結するとし、19年度以降の年間授業計画を精査し、「必要な場合には、授業時数の見直しなどの措置をできるだけ早い段階で講じる」よう求めています。災害や流行性疾患に備えて、計画段階で授業時数を大幅に上積みすることについて「不測の事態に備えることのみを過剰に意識して標準授業時数を大幅に上回って教育課程を編成する必要はない」としています。



## 「震災と向き合う子どもたち」新日本出版社

徳水 博志(とくみず ひろし) 著

2012年1月28日「被災地で希望をつむぐ～東日本大震災後の学校の取り組み～」というテーマで講演していただいた徳水 博志先生(宮城県石巻市立雄勝小学校元教諭)が講演内容や教育実践記録をまとめられ、本を出版されました。ぜひ手にとってご覧ください。

子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」は廃止。